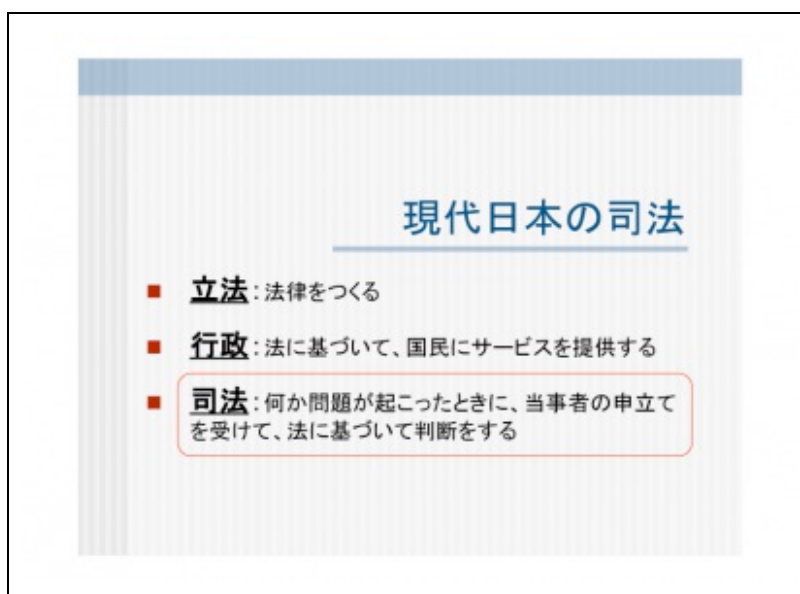


1. はじめに



- | | |
|--|---|
| 1. この講義では、日本の司法についてお話しします。 | 1. In this section, I would like to talk about the Japanese judiciary. |
| 2. 「司法」というのは、国家の仕事の1つです。国家の仕事は、「立法」、「行政」、そして「司法」の3つに分けることができます。 | 2. The Judiciary is one of the three important roles played by national organizations-these roles are Legitimacy, Administration and the Judiciary. |
| 3. ごく簡単に説明すると、立法は、法律をつくらします。 | 3. Legitimacy drafts and redacts laws. |
| 4. 行政は、法に基づいて国民にサービスを提供します。 | 4. Administration has the role to provide services to the nation according to the law. |
| 5. 司法は、何か問題が起こったときに、当事者の申立てを受けて、つまり、当事者に頼まれて、法に基づいて、どちらが正しいとか、刑罰を科すべきだとか、判断をします。 | 5. And the Judiciary decides which party's allegation is true and whether punishment is to be handed out or not. |
| 6. 本当は、もっと長くて難しい説明が必要なのですが、今日のところはこのくらいの説明でやめておきます。 | 6. This will take a while to explain, so I will mention it briefly here, only to be able to introduce the Japanese court system, which I will focus on today. |

- | | |
|---|--|
| <p>7. さて、今、司法は、何か問題が起こったときに、当事者の申立てを受けて、法に基づいて、判断をする、と言いました。</p> <p>8. 国家の中で、そのような仕事をしているのは誰でしょうか。</p> <p>9. それは、裁判所であり、裁判官です。</p> <p>10. 日本国憲法第76条は、「すべて司法権は最高裁判所及び法律の定めるところにより設置する下級裁判所に属する」と規定しています。</p> <p>11. 司法権、司法に関する権力は裁判所が持っている、ということです。</p> <p>12. ですから、今日は、日本の裁判所についてお話ししたいと思います。</p> | <p>7. So, I have just said that the Judiciary functions when some problems have occurred and a party makes an allegation: it seeks to determine the truth, decide which party true is, decide whether the party should be punished or not and so on.</p> <p>8. Then who is working to do such a job for the Crown?</p> <p>9. The answer is the courts and judges.</p> <p>10. Article 76 of the Japanese Constitution stipulates that all judicial power should be under the lower courts established by law and the Supreme Court.</p> <p>11. This implies that courts hold judicial power and authority relating to the judiciary.</p> <p>12. Therefore, I would like to introduce Japanese courts today.</p> |
|---|--|

キーワード(Keywords)

- | | | | |
|--------|--------|------|------|
| ・司法 | ・立法 | ・行政 | ・当事者 |
| ・申立て | ・裁判所 | ・裁判官 | ・司法権 |
| ・最高裁判所 | ・下級裁判所 | | |

日本語解説

文1「この講義では、～についてお話しします。」

文12「今日は、～についてお話ししたいと思います。」

「この講義では、～についてお話しします。」は、講義の最初に、その日のテーマ、話題を要約する表現です。この表現を聞いて、講義の内容の理解を確認してください。

文3「ごく」

「ごく」というのは、漢字で書くと「極」と書きます。「とても」「非常に」という意味を表します。この講義では「ごく簡単に説明すると」と言っています。「とても簡単に、短く」という意味になります。ここでは、その講義のポイント、要旨を説明しています。

文9「^{さいばんかん}裁判官」

「^{かん}～官」という漢字は、^{かんじ}職業、^{しよくぎょう}職名^{しよくめい}の後ろについて、^{うし}公務員など^{こうむいん}公^{おおやけ}の仕事をする人の^{しごと}職名^{ひと}を表します。^{さいばんかん}「裁判官」に対して^{たい}民間から^{みんかん}選ばれて^{えら}裁判に関わる人は^{さいばん}「裁判員」^{かか}と言います。このように^{ひと}公^{しよくめい}の仕事^{あらわ}を「^{かん}～官」、^{みんかん}民間の仕事^{しごと}を「^{いん}～員」と^お分ける^{つか}使い方^{かた}には^{つか}次のようなものがあります。

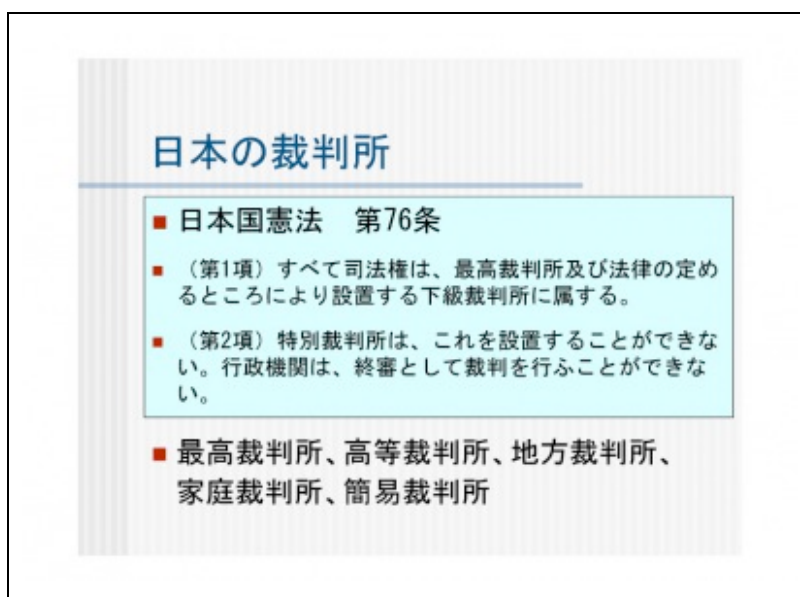
例) ^じ 事務官 ^{むかん}	<=>	^じ 事務員 ^{むいん}
例) ^{きょうかん} 教官	<=>	^{きょういん} 教員
例) ^{けいさつかん} 警察官	=>	^{けいびいん} 警備員

文10「^{しほうけん}司法権」

「^{けん}～権」という漢字は、^{かんじ}名詞の後ろについて、その^{めいし}名詞が^{うし}表^{あらわ}す^{ことば}言葉^{けんり}の権利^いを意味します。この^{こうぎ}講義でも^{つか}次のような「^{けん}～権」が^{つか}使われています。

例)^{しほうぎょうせいけん}司法行政権 ・ ^{きほんてきじんけん}基本的人権 ・ ^{ちてきざいさんけん}知的財産権 ・ ^{せんきょけん}選挙権

2. 日本の裁判所



1. それでは、日本の裁判所についての説明に入ります。最初に、「日本にはどんな裁判所があるのか」をお話しして、その後で、それぞれの裁判所でどんな人が働いているのか、どんな仕事をしているのか、について、お話しすることにします。
 2. まずは、憲法を見てみましょう。
 3. 日本国憲法第76条第1項は、「すべて司法権は、最高裁判所及び法律の定めるところにより設置する下級裁判所に属する。」と規定します。
 4. 憲法は、最高裁判所をつくり、同時に、どのような下級裁判所をつくるかについては、法律に委任している、法律で決めなさいと言っているのです。
 5. この憲法の規定にしたがって、裁判所法という法律は、「高等裁判所」、「地方裁判所」、「簡易裁判所」、「家庭裁判所」、という4種類の裁判所をつくりました。
 6. 憲法に規定された最高裁判所と合わせて、5種類の裁判所があることになります。
1. I will start with the sorts of courts that Japan has, then with the people working at them and lastly cover the jobs that they perform at the courts.
 2. First, let us refer to the Constitution.
 3. Paragraph 1 of Article 76 of the Japanese Constitution stipulates that all judicial power belongs to the lower court established in order of the Supreme Court and law.
 4. This means that the Constitution decides the Supreme Court and at the same time, the kinds of courts existing in Japan should be decided by law.
 5. By following the provision, the Court Act established four types of courts: the High Court, the District Court, the Summary Court and the Family Court.
 6. Alongside the Supreme Court, there are therefore five kinds of courts in Japan.

7. この5種類の裁判所の他には、裁判所はありません。7. There are only these five types of courts in Japan.
8. 憲法に関する事件だけを裁判する憲法裁判所や、行政に関する事件だけを裁判する行政裁判所や、軍隊に関する事件だけを裁判する軍事裁判所は、日本にはありません。8. We have neither constitutional courts, which judge only cases relating to the Constitution, administrative courts which judge cases relating to administration nor military courts which judge cases relating to the military.
9. 日本国憲法第76条第2項は、特別裁判所をつくることを禁止しています。特別裁判所というのは、ある種類の人だけを特別に裁判する裁判所、または、ある種類の事件だけを特別に裁判する裁判所のことです。9. The Japanese Constitution, Article 76, Paragraph 2 prohibits the establishment of special courts, where a court judges some specific people and specific cases.
10. そして、そのような裁判所を、最高裁判所をはじめとする裁判所のグループとまったく別のグループとしてつくること、その裁判所の判決が「おかしい」「間違っている」と思ったとしても最高裁判所と同じグループの裁判所に訴えることができないようにすることは、原則として、できません。10. So, it is also prohibited to create these courts arbitrarily, but the exceptional case is the special court stipulated in the Constitution.
11. 例外は、憲法の中に書いてある特別裁判所、たとえば、裁判官が悪いことをしたときに裁判をする「裁判官弾劾裁判所」という特別な裁判所などです。11. For example, there is an impeachment court to deal with judges acting illegally.
12. 逆に言えば、最高裁判所と同じグループであれば、ある種類の事件だけを裁判する特別な裁判所をつくることもできます。12. To put it the other way, it is possible to judge the same case within the same series of the Supreme Court.
13. たとえば、家庭裁判所というのは、少年に関する事件や家族に関する事件だけを裁判する特別な裁判所ですが、家庭裁判所の判決が「おかしい」「間違っている」と思ったときには高等裁判所に訴えることができるので、特別裁判所だとは考えられていません。13. For example, the Family Court is the special court which judges juvenile cases and cases relating to family matters; however, this is not defined as a special court, since plaintiffs can appeal to the High Court when they think the resolution is inappropriate.
14. また、地方裁判所や高等裁判所などの中に、ある種類の事件だけを裁判する「部」というものをつくることもできます。14. Then, it is possible to make a charter dealing the specific cases for the District Court and High Court.

15. たとえば、裁判所の中に、民事事件だけを
裁判する部、刑事事件だけを裁判する部、
行政事件だけを裁判する部をつくることは、
できます。
16. この場合も、最高裁判所と同じグループの中
にあると考えられるからです。
17. 2005年に、東京高等裁判所の中にあったイ
ンテレクチュアル・プロパティ・ライト
(intellectual property right)、知的財産権
だけを裁判する部が独立して、知的財産高等
裁判所ができました。
18. この知的財産高等裁判所も、東京高等
裁判所の支部であり、最高裁判所と同じグル
ープの中にあるので、問題はないと考えら
れています。
15. For example, we can make several charters
dealing only with civil cases, criminal cases, and
administrative cases.
16. This is because these courts belong to the same
series of the Supreme Court.
17. In 2005, a charter dealing only with intellectual
property rights was made independent and
formed the Intellectual Property High Court.
18. Even though it was made independent, there
have been no problems since this Intellectual
Property High Court is also placed in the same
series as the Supreme Court.

キーワード(Keywords)

- | | | | |
|--------|-----------|--------|--------|
| ・高等裁判所 | ・地方裁判所 | ・簡易裁判所 | ・家庭裁判所 |
| ・特別裁判所 | ・裁判官弾劾裁判所 | ・民事事件 | ・刑事事件 |
| ・行政事件 | | | |

日本語解説

文1「最初に」「その後で」 文2「まず」

講義がいくつかの部分に分かれているときに、講義の最初でその流れを説明するときを使う表現です。

順番を示す言葉には、「最初に」「まず」「第一に」

その後は、「次に」「その後で」「それから」

最後には、「最後に」「まとめとして」などを使います。

文1「裁判所」

「～所」という漢字は、仕事・施設・設備などを表す漢字の後ろについて、その建物を表します。「～
しよ」と読む場合、「～じよ」と読む場合、どちらでも大丈夫な場合があります。

「～しよ」 市役所 刑務所 発電所 変電所

「～じよ・～しよ」 派出所 証券取引所 診療所

文5「したがって」

「AにしたがってB」には次の二つの使い方があります。

① 人や規則、指示などを表す名詞Aについて、その人や規則、指示通りに行動する、という意味を表します。

- ・「法律の素養がある」とは、「法律をよく知っていて、法律にしたがって考えることができる」ということです。
- ・民事訴訟法は、民法や民法に近い法律にしたがって訴訟、裁判をするときのルールを規定しています。
- ・この裁判所は、貴族たちの支配している土地を巡回して、そこでの慣習にしたがって裁判を行いました。
- ・既にお話したように、コモン・ローは、国王の裁判所が、各地の慣習などにしたがって裁判をする中でつくられました。

② まずAが起こり、それに続いてBも起こることを表わします。Bは変化を表す表現を使います。

例) 日がたつにしたがって父は元気になってきた。

例) 研究が忙しくなるにしたがい、遊ぶ時間が少なくなった。

☞ 「講義に役立つ日本語」

文9 「または」

「A. またはB」という形で、「AかBのどちらか一方」という意味を表します。講義の中では次のように使われています。

- ・特別裁判所というのは、ある種類の人だけを特別に裁判する裁判所、または、ある種類の事件だけを特別に裁判する裁判所のことです。
- ・裁判所法第41条は続けて、最高裁判所の裁判官のうち、少なくとも10人は法律の専門家でなければならない、たとえば、裁判官や検察官、弁護士、大学の法学の教授または准教授として、20年間仕事をしてきた人でなければならない、と規定しています。
- ・「判事補」から「判事」になる人が多いのですが、それ以外にも、たとえば検察官や弁護士、大学の法学の教授または准教授などを10年以上していた人も、「判事」になることができます。

文10 「裁判所をはじめとする」

「AをはじめとするB」という表現で、多くあるもののBの中で代表的なAを例として示す表現です。講義では、次のように使われています。

- ・江戸時代の終わりに、アメリカをはじめとするヨーロッパの大きな国が次々と日本にやってきて、日本に「交流しましょう」と言いました。

- ・ アメリカをはじめとする^{だいとうりょうせい} 大統領制^{くにぐに}の国々においては、「^{ぎょうせいふ} 行政府」を^{たんとう} 担当する大統領と「^{りっぽうふ} 立法府」を^{たんとう} 担当する^{ぎかい} 議会は別々に^{べつべつ} 選挙で^{せんきよ} 選出^{せんしゅつ}されます。

文 14 「部」

「部」は^{かんちょう} 官庁・^{かいしゃ} 会社などの^{そしきくぶん} 組織区分の一つを表す^{あらわ} 漢字^{かんじ}です。^{かいしゃ} 会社などでは、^ぶ 部の下に「^か 課」や「^{かかり} 係」があります。ただ、^{なまえ} 名前の^つ 付け方は^{かた} 組織^{そしき}によって^{ちが} 違います。

(1) 最高裁判所

最高裁判所(1)

- 全国に1カ所(東京)
- 最高裁判所長官1人(内閣が指名、天皇が任命)
最高裁判所判事14人(内閣が任命)
=15人(裁判官、検察官、弁護士、行政官、外交官、大学教授)
- →大法廷15人／小法廷5人×3
- +最高裁判所事務総局、図書館、司法研修所.....

- | | |
|---|--|
| 1. では、それぞれの裁判所について見ていきましょう。 | 1. We will now examine each of the courts in turn. |
| 2. 第1に、最高裁判所です。 | 2. Let's start with the Supreme Court. |
| 3. 最高裁判所は、憲法によって設置された唯一の裁判所で、日本の裁判所の頂点にあります。ですので、日本には1カ所しかなく、東京にあります。 | 3. The Supreme Court is the only court established by the Japanese Constitution and it is located above all other Japanese courts, so that there is no Supreme Court besides the one in Tokyo. |
| 4. 最高裁判所の出した判決については、上訴することはできません。 | 4. No-one can appeal the decision of the Supreme Court. |
| 5. 上訴とは、ある裁判所の判決について不服がある、正しいとは思わない、というときに、より地位の高い裁判所に訴えることです。 | 5. Appeal means to bring the case to the upper courts when the plaintiffs are unhappy with a lower court's decision. |
| 6. 最高裁判所には、最高裁判所長官と最高裁判所裁判官がいます。 | 6. The Supreme Court is comprised of the Chief Justice and Supreme Court judges. |

7. 裁判所法第5条第3項は「最高裁判所判事の員数は、14人と」する、と規定しています。ですから、最高裁判所には、最高裁判所長官1人と最高裁判所判事14人、計15人の裁判官がいます。
8. 最高裁判所長官や最高裁判所裁判官は、どうやって選ばれるのでしょうか。
9. まず、どういった人たちから選ばれるのか、と言うと、裁判所法第41条は、「最高裁判所の裁判官は、識見の高い、法律の素養のある年齢40歳以上の者」から任命する、と規定しています。「識見」とは、「物事が正しいかどうかを見分ける力、判断する力」です。
10. 「法律の素養がある」とは、「法律をよく知っていて、法律にしたがって考えることができる」ということです。
11. 裁判所法第41条は続けて、最高裁判所の裁判官のうち、少なくとも10人は法律の専門家でなければならない、たとえば、裁判官や検察官、弁護士、大学の法学の教授または准教授として、20年間仕事をしてきた人でなければならない、と規定しています。
12. 逆に言えば、5人までは、「識見の高い、法律の素養のある」人であれば、法律の専門家でなくてもいい、ということです。
13. これは、法律の専門家の意見だけではなく、いろいろな人の意見を最高裁判所の判決に反映させるためです。
14. ですから、最高裁判所の裁判官は、下級裁判所の裁判官、検察官、弁護士の他に、行政官、外交官、大学教授などからも選ばれます。
7. Article 5 of the Court Act stipulates that the Supreme Court is composed of 14 judges, which means 15 judges altogether when added to the one Chief Justice.
8. So, who do you think they are?
9. Article 41 of the Court Act stipulates that Supreme Court judges must be over 40 years old and have deep insight into and a discipline of law.
10. Having a discipline of law means to have a logical way of thinking.
11. Article 41 states that at least 10 among the 15 members must be law professionals, such as judges, prosecutors, attorneys, professors and associate professors, who have more than 20 years' experience.
12. Put another way, there can be up to five people who are not law professionals if they have a deep insight into and a discipline of law.
13. This is to reflect the opinions of people from various backgrounds in the court's decisions.
14. Therefore, judges from lower courts, prosecutors, attorneys, administrators, ambassadors, university professors and many others can be selected as judges of the Supreme Court.

15. 2009年には、最高裁判所の長官と裁判官15人は、裁判官から選ばれた人が6人、検察官から選ばれた人が2人、弁護士から4人、行政官から1人、外交官から1人、大学教授から1人、となっています。
16. 次に、どうやって選ぶのか、というと、最高裁判所の裁判官は、内閣が任命します。憲法第79条が、そのように規定しています。
17. 最高裁判所長官は、内閣が指名し、天皇が任命します。
18. 憲法第6条第2項は、「天皇は、内閣の指名に基いて、最高裁判所の長たる裁判官を任命する」と規定しています。
19. この「指名」と「任命」とはどう違うのか、というと、「指名」とは、たとえば「Aさんを長官にしましょう」と決めることです。
20. Aさん、Bさん、Cさん、というように何人かの候補者がいる中から、「誰が最高裁判所長官にいちばん良いか」を考えて、決めることです。
21. 「任命」とは、「ある人を、ある役職につけること」です。
22. ですから、この場合には、内閣が「誰が最高裁判所長官にいちばん良いか」を考えて指名し、天皇はその人を最高裁判所長官にする、ということです。
23. 天皇は、内閣が指名した人を任命しなければならない、拒否することはできない、と考えられています。
15. For example, in 2009, the 15 judges were composed of six judges, two prosecutors, four attorneys, one administrator, one ambassador and one university professor.
16. Do you know how they are selected? Article 79 of the Japanese Constitution stipulates that the Supreme Court judges will be appointed by the Prime Ministry.
17. The Chief Justice will be appointed by the Prime Ministry and assigned by the Emperor.
18. Paragraph 2 of Article 6 of the Japanese Constitution stipulates that the Emperor will assign the Chief Justice based on the appointment that the Prime Ministry decided beforehand.
19. So then what is the difference between appointment and assignment?
20. Appointment means to decide who will be the Chief Justice from among several nominees.
21. Assignment means to makes somebody take up a certain position.
22. Therefore, in this case, the Prime Ministry decides who should be Chief Justice and the Emperor makes the person Chief.
23. However, the Emperor cannot refuse the person appointed by the Prime Ministry.

24. どうしてそんな面倒なことをするのか、内閣が「誰が最高裁判所長官にいちばん良いか」を考えるのならば、内閣が任命すればいいではないか、と思われるかもしれません。
 25. これは、行政権の代表者である内閣総理大臣を任命するのは天皇なので、司法権の代表者である最高裁判所長官も天皇が任命すべきである、その方が、内閣が任命するよりも権威がある、地位が高いように見える、という理由のようです。
 26. なお、法律では、内閣が最高裁判所の長官を指名することになっていますが、実際には、内閣だけが考えて、決めているわけではありません。
 27. 最高裁判所長官は、辞めるときに、次の長官には誰が良いと思うか、内閣総理大臣に伝えます。
 28. そして、内閣は、その人をそのまま指名する、と言われています。
 29. また、内閣が最高裁判所裁判官を選ぶときにも、最高裁判所や最高検察庁、弁護士会などが候補者を推薦する、「この人がいいですよ」と内閣に伝える慣習があるとも言われています。
 30. これは、法律で決まっていることではなく、慣習として行われている、つまり、今までずっとそうだったし、その方が良いと思われる、ということです。
 31. 司法に対するチェックについて、もう 1 つ説明しておく、最高裁判所裁判官の国民審査、という制度があります。憲法第79条が規定しています。
24. Why is this so complicated? You might think it is better that the Prime Ministry assigns the person to be Chief Justice as well.
 25. The reason for this is the same as the system of assigning the Prime Ministry and the Representative of Administration.
 26. The law states that the Prime Ministry appoints the Chief Justice, but in practice, it decides the person in cooperation with several related parties.
 27. The Chief Justice tells the Prime Ministry who should be the next Chief when he retires, and this person is then appointed by the Prime Ministry.
 - 28.
 29. Sometimes, the Supreme Court, the Supreme Public Prosecutors' Office and the Bar Association recommend a certain person for Chief.
 30. This is not stipulated in law, but it is a custom that they follow in deciding the Chief Justice.
 31. There is a system of check of the Judiciary for the nation. Article 79 stipulates the national review of the Supreme Court judges.

32. 最高裁判所裁判官は、任命された後、初めて衆議院選挙が行われるときに、国民審査を受けなければなりません。
33. 国民審査では、有権者、つまり選挙権がある人、選挙をすることができる人全員が、審査をすることができます。
34. 審査をする人の過半数が、「この裁判官は最高裁判所裁判官として、良くない」と考えたときは、その裁判官は辞めさせられます。
35. 最高裁判所裁判官は、国民審査を受けてから、10年過ぎると、また衆議院選挙のときに国民審査を受けなければなりません。
36. このようにして、国民は、最高裁判所裁判官をチェックできます。
37. しかし、今までに国民審査によって辞めさせられた裁判官は、いません。
38. ですので、この制度はうまく働いていない、という批判もあります。
39. さて、最高裁判所には、長官1人と裁判官14人、合わせて15人がいるわけですが、いつも15人で裁判をするわけではありません。
40. 最高裁判所には、「大法院」と「小法院」があります。
41. 15人全員で構成される法院を「大法院」といい、5人ずつの裁判官で構成される3つ法院を「小法院」と呼びます。
42. 多くの事件は小法院で審理されますが、重要な事件、たとえば、法律や命令が憲法に違反すると判断するときや、前に最高裁判所が出した判決に反する判決、違う判決をするときには、大法院で審理しなければなりません。
32. These judges must refer to the national review at the first Lower House election after they became judges.
33. The national review is the system whereby all votes reflect an opinion of the selections made for Supreme Court judges.
34. If the majority of votes indicate that the judge is not suitable as the Chief Justice of the Supreme Court judge, the judge will be fired.
35. Supreme Court judges have to undergo national review again when they have 10 years' experience as a Supreme Court judge.
36. In this way, the nation can check the Supreme Court judges.
37. However, no judges have been fired by this system to date.
38. So, some are critical that this system does not work.
39. As I mentioned before, there are 15 judges in the Supreme Court, but it is not always true that all 15 judges make decisions together.
40. The Supreme Court is divided into the Grand Bench and the Petty Bench.
41. In the Grand Bench, all 15 judges make decisions together, but three Petty Benches each consist of five judges.
42. Many cases are dealt with by the Petty Bench, but significant matters, such as cases deciding whether laws and adjuration is against the Constitution or not, must be dealt with by the Grand Bench.

43. 最高裁判所には、長官や裁判官以外にも職員がいます。 43. Besides the Chief Justice and judges, there are many officers.
44. 裁判官たちの仕事を手伝っているのが、最高裁判所調査官です。 44. One such Officer is the Supreme Court Examiner.
45. 最高裁判所調査官は、裁判官の資格を持った人たちのなかから選ばれ、裁判に必要な資料を集めたり、学説や判例を調べたりして、最高裁判所裁判官が判決を下す手助けをしています。 45. They are selected by people certified to be judges and they collect information and research about doctrine and authority to help the Supreme Court judges to arrive at decisions.
46. その他にも職員がいます。 46. There are other types of officers too.
47. 後で述べますが、最高裁判所の仕事は、裁判するだけではありません。最高裁判所は、日本の裁判所組織のトップとして、「司法行政」、裁判所内部の行政についても権限を持っています。この司法行政を手伝っているのが、最高裁判所事務総局というところで働いている人たちです。 47. The Supreme Court as the top of Japanese judicial organization has other responsibilities and powers, such as having the authority to oversee the administrative issues of the courts.
48. その他にも、図書館や、これから裁判官、検察官や弁護士になる人たちが学ぶ「司法研修所」という施設もあります。 48. It also runs a library and the Legal Research and Training Institute, where paralegals study.
49. これら施設でも多くの職員が働いています。 49. There are many people working at such institutes.

キーワード(Keywords)

- | | | | |
|----------------------|------------------------|-----------------------|-------------------|
| けんさつかん
・検察官: | べんごし
・弁護士 | ぎょうせいかん
・行政官 | がいこうかん
・外交官 |
| ないかく
・内閣 | ないかくそうりだいじん
・内閣総理大臣 | さいこうけんさつちやう
・最高検察庁 | べんごしかい
・弁護士会 |
| さいこうさいばんしょ
・最高裁判所 | さいばんかん
・裁判官 | こくみんしんさ
・国民審査 | しほうぎやうせい
・司法行政 |

日本語解説

文3 「によって」

「～によって」には①手段、②受身の動作主、③原因、④基準などの意味と使い方があります。名詞を修飾するときには「～によるN」の形になります。

①メールによって情報を交換する。

メールによる情報交換

例)

- ・ドイツの法学者であるイェーリングは、「ローマは3回世界を征服した」と言いました。1回目は、武力によって、戦争によって、です。2回目は、キリスト教によって、です。そして、3回目は、ローマ法によって、です。
- ・「法律の留保」とは、法律によって、権利の全部または一部を、「守らなくてもいい」と決めてしまうことです。
- ・最高裁判所は、憲法によって設置された唯一の裁判所で、日本の裁判所の頂点にあります。

②このビルは有名な建築家によって設計された。

有名な建築家による設計。

例)

- ・しかし、今までに国民審査によって辞めさせられた裁判官は、いません。
- ・所長は、「判事」と呼ばれる裁判官の中から最高裁判所によって任命されます。
- ・第3に、大陸法は、「法典編纂」によってつくられた法律なので、文章になった法、書かれた法だ、ということです。

③その事故は、スピードの出しすぎによって起こった。

スピードの出しすぎによる事故

④米の食べ方は国によってちがう。

国による米の食べ方のちがい

例)

- ・ただし、広義においては、国家の直接関与しない次元の意思決定でも、文脈によっては「政治」と呼ばれることもあります。
- ・その構造は国によって様々で、またそれらは時代と共に常に変転していきます。たとえば一言で「民主主義」と言っても、国民の代表者をいかにして選び、彼等がどのような形で合意を形成していくか、という点については、国や時代によって様々に異なります。

論文などでは、「～により」の形も使われます。

例)医学の進歩により、多くの病気が治るようになった。

☞ 「講義^{こうぎ}に役立^{やくだ}つ日本語^{にほんご}」

さいこうさいばんしよ
最高裁判所（続き）

最高裁判所(2)

- 裁判 上訴+憲法適合性審査を担当
- 司法行政
 - 法律が規定していること以外の訴訟の手続や、裁判所内のルールをつくる(憲法第77条)
 - 下級裁判所の裁判官を指名する、その他の職員を任命する(憲法第80条)
 - 裁判所に関する予算についての権限(財政法第18条)

- | | |
|--|--|
| <p>1. では、最高裁判所がどのような仕事をしているのか、についてお話しします。</p> <p>2. 最高裁判所の仕事は、1つには、下級裁判所の判決に対する上訴、この場合は「上告」と言いますが、上告を受け、裁判を行うことです。</p> <p>3. ただし、最高裁判所に上告することができる理由は、下級裁判所の判決が前に最高裁判所がした判決、これを「判例」といいますが、判例と異なる判決であること、判決に憲法解釈の誤りがあること、その他の憲法に対する違反があること、など、いくつかの理由に限定されています。</p> <p>4. どうして限定するのかというと、あまりたくさんの事件が最高裁判所に上告されると、裁判をすることが難しくなってしまうからです。</p> <p>5. 現在でも、最高裁判所裁判官は、1年間に1人あたり 400件近い事件を裁判している、と言われており、とても忙しいようです。</p> | <p>1. So, what are the exact duties of the Supreme Court?</p> <p>2. One is to receive appeals from the lower courts and open the court.</p> <p>3. Of course, there are conditions for appealing; these are when the resolution of the lower court was different from the resolution previously decided by the Supreme Court; when there are mistakes in the interpretation of the Constitution used in adjudication; when there are several breaches of the Constitution and so on.</p> <p>4. Why are there such restrictions? This is because it is difficult for judges to deal with many cases of appeal.</p> <p>5. Judges are so busy that it has been said that every Supreme Court judge deals with almost 400 cases per year.</p> |
|--|--|

6. ですので、最高裁判所に上告できる理由を判例違反や憲法違反などの重大なものだけに限定して、最高裁判所裁判官があまり忙しくなりすぎないようにしています。
7. ここで、「憲法に対する違反」について、少し触れておきましょう。
8. 「憲法に対する違反」、よく「違憲」と言いますが、法律や命令などが憲法に適合するかどうか、違憲かそうでないか、を決めることを「憲法適合性審査」とか「違憲審査」と言います。
9. 日本の最高裁判所は、この違憲審査をすることが出来ます。
10. 日本国憲法第81条は、「最高裁判所は、一切の法律、命令、規則又は処分が憲法に適合するかしないかを決定する権限を有する終審裁判所である」と定めています。
11. 「終審裁判所」というのは、それより後の裁判所はない、その裁判所の判決に不服があっても、もう上訴できない、という裁判所のことです。
12. 最高裁判所は、違憲審査権を持った、一番地位の高い裁判所、最後の裁判所なのです。ですので、最高裁判所は「憲法の番人」とも呼ばれています。
13. このように、日本では最高裁判所に違憲審査権があるのですが、最高裁判所が違憲判断を出すことは、あまりありません。
14. 1947年に最高裁判所がつくられてから60年以上が経ちましたが、「法律が違憲である」と判断したことは、8回しかありません。
15. 最高裁判所についての話を終わる前に、最高裁判所のもう1つの仕事である、司法行政権についてお話しします。
6. Therefore, the number of case eligible to come before the Supreme Court is restricted, creating a situation where the Supreme Court judge is not too busy. What does "breach of the Constitution" mean?
7. It means an unconstitutional matter.
8. Constitutional review is the process whereby it is judged whether the matter is against the Constitution or not.
9. The Japanese Supreme Court has the authority to conduct a constitutional review.
10. Article 81 stipulates that the Supreme Court is the court of last resort, deciding whether all the laws, orders, regulations and appointments are true or not.
11. The phrase the "court of last resort" implies that there are no further upper courts, so no-one can appeal its ruling.
12. The Supreme Court is also referred to as the Guardian of the Constitution, since it has the authority of constitutional review and is placed last in the series at the top.
13. However, it is not so often that the Supreme Court reaches a decision that resolutions are unconstitutional.
14. It has been 60 years since the Supreme Court was established in 1947, but on only eight occasions have the judges determined the law to be unconstitutional.
15. Before finishing my introduction of the Supreme Court, I would like to mention judicial administration.

16. 司法行政権とは、たとえば、法律が規定していること以外の訴訟の^{いがい}手続や、^{さいばんしょないぶ}裁判所内部のルールをつくる^{けんげん}権限です。
17. これは、^{けんぽうだい}憲法第77条が規定しています。
18. それから、^{かきゅうさいばんしよ}下級裁判所の^{さいばんかん}裁判官を^{しめい}指名したり、^{さいばんかんがい}裁判官以外の^{さいばんしよくいん}裁判所職員を^{にんめい}任命したりする^{けんげん}権限です。これは、^{けんぽうだい}憲法第80条が規定しています。
19. それから、^{せいふ}政府が^{さいばんしよ}裁判所に^{かん}関する^{よきん}予算をいく^{かんが}らにするか^えるときに^{いけん}意見を述べたり、^{よきん}もらった^{つか}予算をどう^き使うか^{けんげん}決めたりする^{けんげん}権限などです。
20. これは、^{ざいせいほう}財政法という^{ほうりつ}法律の^{だい}第18条が^{じょう}規定しています。
21. こういった^{けんげん}権限は、^{さいばんしよ}裁判所ではなく、^{しほうしやう}司法省が^も持っている^{くに}国もあるのですが、^{にほん}日本では^{さいこうさいばんしよ}最高裁判所が^も持っています。
16. This is the authority to regulate the rules for inside of courts and any court procedures except those stipulated in law.
17. This is stated in Article 77 of the Constitution.
18. Also, Article 80 stipulates the authority to appoint the lower court judges and court officers.
19. Moreover, the authority involves the right to remark on the occasion of the government discussing the budget and of deciding the allocation of certain budget.
20. This is stipulated in Article 18 of the Public Finance Act.
21. In Japan, the Supreme Court has such authority, whereas in some countries it is held by the Ministry of Finance.

キーワード(Keywords)

- ・^{じやうこく}上告
- ・^{はんれい}判例
- ・^{けんぽうてきごうせいしんさ}憲法適合性審査(違憲審査)

日本語解説

文2「^{たい}対する」「^{たい}対して」

「^{たい}～に対して～」、「^{たい}～に対する N」は、ある^{こうい}行為や^{ほんだん}判断、^{よそう}予想を^{おこな}行うときの^{たいしやう}対象 (object) を^{あらわ}表すときに^{つか}使います。この^{こうぎ}講義では次のように^{つか}使われています。

- ・ここで、「^{けんぽう}憲法^{たい}に対する^{いはん}違反」について、^{すこ}少し^ふ触れておきましょう。
- ・ですが、^{さつじんじけん}殺人事件などの^{じゅうだい}重大な^{じけん}事件の^{さいばん}裁判や、^{かんいさいばんしよ}簡易裁判所の^{ほんけつ}判決^{たい}に対する^{じやうそじけん}上訴事件の^{さいばん}裁判については、^{にん}3人の^{さいばんかん}裁判官による^{さいばん}裁判をしなければなりません。
- ・^{しほう}司法^{たい}に対する^{せつめい}チェックについて、もう1つ^{さいこうさいばんしよさいばんかん}説明しておく、^{こくみんしんさ}最高裁判所裁判官の^{こくみんしんさ}国民審査、という^{せいど}制度があります。
- ・これはおかしい、^{おな}同じ^{ぎいん}議員を^{えら}選ぶのだから^{ゆうけんしや}有権者の^{かず}数はできるだけ^{おな}同じ^{かず}数であるべきだ、と思う^{ひと}人が、^{さいばん}裁判に^{うった}訴えたいときは、^{こうとうさいばんしよ}高等裁判所^{たい}に対して^{うった}訴えます。

- ・これはおかしい、同じ議員を選ぶのだから有権者の数はできるだけ同じ数であるべきだ、と思う人が、裁判に訴えたいときは、高等裁判所に対して訴えます。
- ・もう1つには、外国人の法律家を日本に招いて、法律をつくるのを手伝ってもらったり、学生に対して法律を教えてもらったりしました。

ある行為、判断、予想を行うときの対象を表す表現に「～について」と「～に対して」がある。下の例の差に気をつけてください。

- ・学生について説明する。(学生のことを「誰かに」説明する)
- ・学生に対して説明する。(学生「に」説明する)

☞「講義に役立つ日本語」

文5 「1人あたり400件近い」

「AあたりB」という形で、Aが使う分量を表します。また「～近い」「～近く」という表現は「～より少し少ない」という意味を表します。それ以外にも割合や数を表すときには次のような表現を使います。

あわせて～	男女合わせて5000人に聞きました	Total
合計～	合計5000人に聞きました	Total
平均～	平均3000万円	average
ちょうど～	ちょうど1.5倍	just
ほとんど～	ほとんど100%	almost
およそ～	およそ30%の人	about
約～	約30%	about
～あまり	30%あまり	about
～近く	30%近く	nearly

文10 「一切」

「一切」ということは「全部」「全く」という意味を表します。肯定を表す表現と一緒に使うときには「すべて」「全部」という意味を、否定の表現と一緒に使うときには「全く」「全然」という意味を表します。

(2) 高等裁判所



- | | |
|--|--|
| 1. つぎに、高等裁判所について見てみましょう。 | 1. We will now discuss the High Court. |
| 2. 高等裁判所は、下級裁判所の中では最も高い地位にあります。 | 2. The High Court is placed highest among the lower courts. |
| 3. 具体的に言うと、最高裁判所の下で、地方裁判所や家庭裁判所の上、ということです。 | 3. In detail, it is directly below the Supreme Court and above the District Courts and Family Courts. |
| 4. 高等裁判所には、高等裁判所長官と裁判官のほかに、多くの職員がいます。 | 4. It has many judges and officers, such as the C High Court Judge and High Court judges. |
| 5. たとえば、東京高等裁判所には、裁判官が149人、その他の職員が449人います。 | 5. For example, there are 149 judges and 449 officers. |
| 6. 高等裁判所で裁判を行うときには、裁判官3人で行うのが原則ですが、例外として5人で行うこともあります。 | 6. Generally, three judges conduct court, although there are exceptional cases where five judges can conduct it. |
| 7. 高等裁判所は、より地位の低い裁判所、つまり、地方裁判所や家庭裁判所などの判決に対する上訴、このときは控訴といいますが、控訴を扱います。 | 7. The High Court also deals with case of appeal against the resolutions of the lower District Courts and Family Courts. |
| 8. つまり、高等裁判所は、第二審として裁判する、2番目の裁判所として裁判することが多いということです。 | 8. So, most of the time, it functions as a second trial. |

9. しかし、例外的に、第一審として裁判することもあります。 9. However, there are rare cases where the High Court functions as the first trial.
10. 高等裁判所が、どのような事件を第一審として裁判するのは、個別の法律に定められています。 10. This occurs as stipulated in law.
11. たとえば、選挙に関する訴訟については、「公職選挙法」という法律に規定されています。第203条、第204条、第207条です。 11. For example, Articles 203, 204, and 207 of the Public Office Election Act stipulate that case concerning elections should be judged in the High Court first. Election usually entails problems of inequality.
12. 日本でよく問題になるのは、国会議員の選挙が不平等だ、ということです。2009年8月に、衆議院選挙が行われました。 12. Election usually entails problems of inequality.
13. 衆議院選挙では、日本を300の選挙区に分けて、各選挙区から1人ずつ議員を選びます。 13. The Lower House election decides 480 members; 300 members are elected by the system of choosing one member from 300 districts.
14. 他に、日本全体から180人選ばれて、全部で480人の議員が選ばれます。 14. The district areas were decided by law.
15. この2009年の選挙のとき、有権者数が最も多い千葉県第4区では有権者は約48万人、最も少ない高知県第3区では有権者は約21万人でした。 15. If we look up the cases pertaining to Lower House election in August of 2009, we can find big gaps between two of Japan's districts. There are about 480,000 qualified voters in district four-Chiba prefecture-which had the highest numbers of voters. On the other hand, district three-Kouchi prefecture-had only 210,000 qualified voters.
16. 同じ1人の議員を選ぶのですが、約2.3倍の差があります。有権者の多いところから選ばれた議員も、有権者の少ないところから選ばれた議員も、同じ権限を持っています。 16. The former area has almost 2.3 times more voters compared with the latter area, even though the members who win the election will hold the same authority.
17. これはおかしい、同じ議員を選ぶのだから有権者の数はできるだけ同じ数であるべきだ、と思う人が、裁判に訴えたいときは、高等裁判所に対して訴えます。 17. Any person who thinks these differences must be corrected by law must approach the High Court.

キーワード(Keywords)

- ・^{こうそ}控訴
- ・^{こうしよくせんきよほう}公職選挙法
- ・^{しゅうぎいん}衆議院

日本語解説

文 13 「^{ひとり}1人ずつ」 文 16 「^{ちくばい}約2.3倍」

「～ずつ」は、^{かず}数や^{りよう}量を表す語に付けて、「～」を一つの^{たんい}単位として、それぞれに^{ひと}等しい^{ぶんりよう}分量を^わ分けることを意味します。また、^{ばい}倍、^{わりあい}割合を表す表現には次のような表現があります。

～パーセント	10%	%
～ ^{わり} 割	1 ^{わり} 割	10%
～ ^{ばい} 倍	3 ^{ばい} 倍	～times
～ ^{ぶん} 分の～	4 ^{ぶん} 分の1 (=25%)	
～ ^{ちゅう} 中～	5000人 ^{にんちゅう} 中 3500人 ^{ひと}	
～に～	5 ^{にん} 人に1人	

文 17 「あるべき」

「～べきだ」はある^{かちかん}価値観に^{もと}基づいて「～することが^{とうぜん}当然である」「～することが^{ただ}正しいことである」という^{いみ}意味を表します。

「～べきだ」の否定形は「～べきではない」です。「～ないべきだ」という^{かたち}形は^{つか}使いません。

○無理に^{むり}子どもを^こ学校に行かせるべきではない。

×無理に^{むり}子どもを^こ学校に行かせないべきだ。

(3) ちほうさいばんしょ 地方裁判所



- | | |
|---|---|
| 1. 3番目に、ちほうさいばんしょです。ちほうさいばんしょは、
こうとうさいばんしょした、かんいさいばんしょうえにありま
す。 | 1. The District Court is placed under the High
Court and above the Summary Court. |
| 2. ちほうさいばんしょには、さいばんかんかずおおのしよくいんがい
ます。 | 2. Again, it has many judges and court officers. |
| 3. たとえば、いちばんおおきなちほうさいばんしょである
とうきようちほうさいばんしょには、さいばんかんが520にん、その
ほかしよくいんが1905にんもいます。 | 3. For example, Tokyo District Court has 520
judges and 1905 court officers, since it is the
biggest in the country. |
| 4. いっぽう、ちひいさなちほうさいばんしょでは、さいばんかんが
20にんくらいしかいないさいばんしょもあります。 | 4. On the other hand, some district courts have
only 20 judges. |
| 5. さいこうさいばんしょこうとうさいばんしょには「ちようかん」がいま
したが、ちほうさいばんしょには「ちようかん」はいません。
「しやちよう」といいます。 | 5. Instead of having a chief judge as exists in the
Supreme Court and High Court, there are heads
of District Courts. |
| 6. しやちようは、「はんじ」と呼ばれるさいばんかんなかから
さいこうさいばんしょにんめいによって任命されます。 | 6. They are assigned by the Supreme Court. |
| 7. ここで、さいばんかんについて、すこしせつめいしておき
ましょう。 | 7. Now, let us talk about the judges. |
| 8. にほんでは、「しほうしけん」というほうむしやうおこな
しけんこうかくして、さいばんかんになります。 | 8. In Japan, people have to pass the bar
examination to become judges. |

9. 司法試験に合格した人は、裁判所や検察庁、弁護士事務所に行き、勉強したり、最高裁判所にある司法研修所で勉強したりします。それが終わった後、もう1回試験があります。
10. この最後の試験に合格した人で、「裁判官になりたい」と思っている人の中から、最高裁判所が裁判官を指名し、内閣が任命します。
11. この人たちは、最初は「判事補」という裁判官になります。「判事補」は、1人で裁判をしてはいけなとか、何人かの裁判官で裁判するときには判事長になってはいけなとか、できないことがいくつかあります。
12. 「判事補」として10年以上働くと、次は、先ほど出てきた「判事」という裁判官になることができます。
13. 「判事」になると、1人でも裁判をすることができますし、判事長になることもできます。
14. 「判事補」から「判事」になる人が多いのですが、それ以外にも、たとえば検察官や弁護士、大学の法学の教授または准教授などを10年以上していた人も、「判事」になることができます。
15. 裁判所法の第42条や第43条に書いてありますから、後で見てみてください。
16. 地方裁判所では、普通は、1人の裁判官が裁判をします。
17. ですが、殺人事件などの重大な事件の裁判や、簡易裁判所の判決に対する上訴事件の裁判については、3人の裁判官による裁判をしなければなりません。
18. 地方裁判所は、原則として第一審を担当する裁判所です。
9. People passing this examination study at several practice offices such as the Legal Research and Training Institute, courts, prosecutors' offices and lawyers' offices, and lastly they take one more exam.
10. The Supreme Court appoints the candidates from them and the Prime Ministry assigns them.
11. They initially serve as an Assistant Judge, having several limitations on their role, such as being unable to conduct court by oneself or to become a presiding judge.
12. They become judges once they have served as an Assistant Judge for more than 10 years.
13. It is normal for assistant judges become judges, but there are some other ways to become judges too.
14. For example, prosecutors, attorneys, legal professors and assistant professors who have more than 10 years' experience can also be judges.
15. This is stipulated in Articles 42 and 43, so please look these up later.
16. Usually the District Court is conducted by one judge.
17. However, if the matter is a significant issue, such as a murder case or appeal case against a Summary Court resolution, it must be dealt with by three judges.
18. In general, the District Court is where the first trial is held.

19. 例外として、個別の法律が「他の裁判所が第一審を担当する」と規定している場合は、地方裁判所は担当しません。
20. たとえば、公職選挙法は、選挙に関する訴訟については高等裁判所に訴えなさい、と規定していますから、地方裁判所ではなく高等裁判所が第一審を担当します。
21. それから、法律に、「家庭裁判所が第一審を担当する」とか「簡易裁判所が第一審を担当する」と書いてある場合には、それらの裁判所が第一審を担当します。
22. 逆に言えば、そう書いてないときは、地方裁判所が第一審を担当する、ということです。
- 4番目は、家庭裁判所で、5番目は、簡易裁判所です。ですが、今日は時間がないので、飛ばすことにします。
19. However, when laws stipulate that another court will deal with a case as the first trial, the District Court cannot deal the case, such as in election matters.
20. Election cases will be heard by the High Court first.
21. In addition, when the law regulates that the Family Court and Summary Court will deal with a case as the first trial, again the District Court cannot hold the first trial.
22. These are the only exceptions.

キーワード(Keywords)

・判事 ・判事補

日本語解説

文4「一方で」

AとBの内容が非常に異なるとき、対比的なとき、「A。一方でB」または「A。一方B」という形で二つのものを比べます。

- ・このように、国内政治と国際政治とでは、様々な形での相違点がありますが、一方で、両者は互いに影響を与え合う関係でもあります。

=>ここでは「相違点」と「お互いに影響を与え合う」を対比しています。

- ・すなわち、「他国の政治システムとの比較」を通じて「既存の日本の常識」の相対化し、また一方で「過去の政治システムとの比較」を通じて「現在の我々の常識」を相対化することが可能になります。

・アメリカを初めとする大統領制の国々においては、「行政府」を担当する大統領と「立法府」を担当する議会は別々に選挙で選出されます。一方、日本やイギリスなどの議院内閣制の国々では、選挙で選出された「立法府」としての議会が、「行政府」としての首相を選出します。
=>ここでは「アメリカなど」と「日本」や「イギリス」を対比しています。

文5「所長」

「～長」という漢字は「～のなかのトップ」「～のなかのリーダー」という意味を表します。「裁判官」「裁判員」のなかのリーダーは「裁判長」、大学のなかのトップは「学長」あるいは「総長」と呼びます。その他にも次のような使い方があります。

大学：総長・学部長・学科長・研究科長・専攻長

会社：会長・社長・部長・課長・係長

行政単位：市長・区長・町長

(4) ^{かていさいばんしょ} 家庭裁判所

家庭裁判所

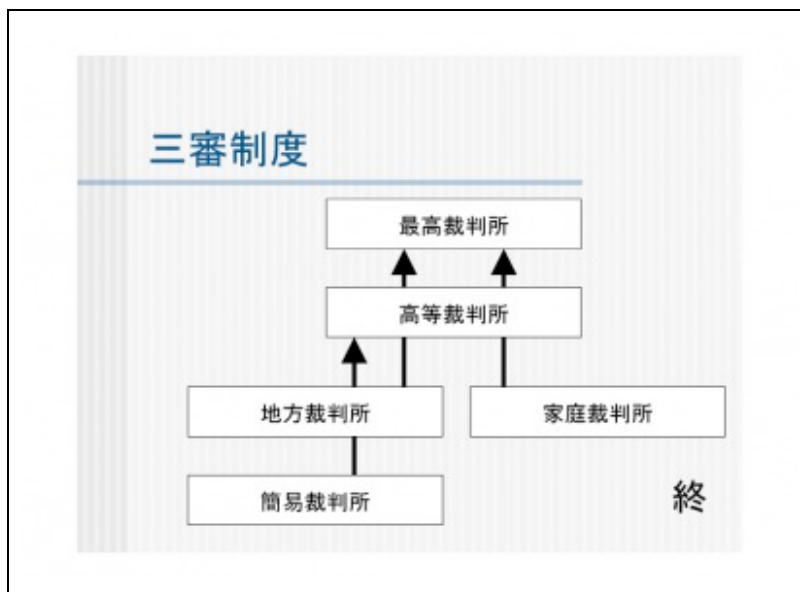
- 全国に50カ所＋支部・出張所
- 家庭に関する事件
- 少年事件
- 人事訴訟

(5) ^{かんいさいばんしょ} 簡易裁判所

簡易裁判所

- 全国に483カ所
- 簡易裁判所判事≡裁判官 (cf. 裁判所法第44条)
- 重大でない事件を素早く裁判する
ex. 「訴額」が140万円を超えない事件

3. おわりに



- | | |
|---|---|
| 1. この 5種類 ^{しゅるい} の裁判所 ^{さいばんしょ} が、現在 ^{げんざい} 、日本 ^{にほん} にある裁判所 ^{さいばんしょ} の全て ^{すべ} です。少し付け加 ^{すこ} えると、日本 ^{にほん} では、当事者 ^{とうじしや} が望めば、原則 ^{げんそく} 的に 3回 ^{かい} までの裁判 ^{さいばん} を受けることができます。 | 1. There are only five kinds of courts in Japan, so the people can have three trials at the most. |
| 2. 「三審制度 ^{さんしんせいど} 」といいます。 | 2. This is called a three-tiered judicial system. |
| 3. 第一審 ^{だいいっしん} は、普通 ^{ふつう} は、地方裁判所 ^{ちほうさいばんしょ} か、簡易裁判所 ^{かんいさいばんしょ} か、家庭裁判所 ^{かていさいばんしょ} のどれかが担当 ^{たんとう} します。 | 3. As I mentioned above, usually people first go to the District Court, Summary Court or Family Court. |
| 4. 特別な場合 ^{ばあい} には、たとえば、選挙 ^{せんきょ} に関する訴訟 ^{そしやう} などの場合 ^{ばあい} には、高等裁判所 ^{こうとうさいばんしょ} が第一審 ^{だいいっしん} になります。 | 4. In special cases, such as those concerning election matters, the High Court will hold the first trial. |
| 5. 第一審 ^{だいいっしん} の判決 ^{はんけつ} に不服 ^{ふふく} がある人 ^{ひと} は、第二審 ^{だいにしん} の裁判所 ^{さいばんしょ} に上訴 ^{じやうそ} することができます。 | 5. When people have questions about the court's resolution, they can appeal for a second trial. |
| 6. このとき ^{じやうそ} の上訴 ^{じやうそ} のことを「控訴 ^{こうそ} 」といいます。 | 6. This petition is called a suit. |
| 7. 第二審 ^{だいにしん} の裁判所 ^{さいばんしょ} の判決 ^{はんけつ} にも不服 ^{ふふく} がある人 ^{ひと} は、さらに第三審 ^{だいきんしん} の裁判所 ^{さいばんしょ} に上訴 ^{じやうそ} することができます。 | 7. Moreover, they can petition a third trial when they have objections. |
| 8. このとき ^{じやうそ} の上訴 ^{じやうそ} のことを「上告 ^{じやうこく} 」といいます。 | 8. This is called appeal. |
| 9. 上訴 ^{じやうそ} のパターンはいろいろあります。 | 9. There are many types of appeals. |

10. たとえば、^{ちほうさいばんしょ}地方裁判所が^{だいいっしん}第一審、^{こうとうさいばんしょ}高等裁判所が^{だいにしん}第二審、^{さいこうさいばんしょ}最高裁判所が^{だいさんしん}第三審、ということもあります。
11. また、^{かんいさいばんしょ}簡易裁判所が^{だいいっしん}第一審、^{ちほうさいばんしょ}地方裁判所が^{だいにしん}第二審、^{こうとうさいばんしょ}高等裁判所が^{だいさんしん}第三審、ということもあります。
12. いずれにしても、^{さいばん}裁判は、^{げんそく}原則として、^{かい}3回しか受けることができません。
13. 今日は、^{にほん}日本の^{さいばんしょ}裁判所について^{はな}お話ししました。
14. みなさんは、^{にほん}日本の^{さいばんしょ}裁判所について、どのよう^{いんしやう}な印象を持ちましたか。
みなさんの^{ぼこく}母国の^{さいばんしょ}裁判所と^{くら}比べてみて、よく似ている点、あるいは、^{ちが}違う点^{てん}は、どこでしょう^{よう}か。
15. ^{ちが}違うとしたら、どうして^{ちが}違うのだ^{おも}と思いますか。
16. この^{こうぎ}講義が^お終わった^{あと}後で、ぜひ、^{しら}調べたり、^{かんが}考えたりしてみてください。
17. これで、今日の^{きやう}講義^{こうぎ}を^お終わります。
10. For example, you can go to District Court for the first trial, the High Court for the second, and the Supreme Court as the final court.
11. You can also go to the Summary Court first, the District Court second, and the High Court last.
12. Regardless of the type of appeal, a decision can be received for a maximum of three times from the courts.
13. Today, I introduced the Japanese Judiciary to you.
14. What do you think the differences or similarities are with the judicial system in your countries?
15. Why do these exist?
16. Please take some time to think about it after this lecture.
17. So, this is it for today.

日本語解説

文1「全て」

「全」という漢字は、「100%」「全部」という意味を表します。ただし、意味によって読み方がかわりますので、^{ちやうい}注意してください。

^{すべ}全て = ^{ぜんぶ}全部

^{まった}全く = ^{ほんとう}本当に

^{まった}全く～ない = ^{ぜんぜん}全然～ない

^{まっ}全うする = ^{かんぜん}完全に^お終わる

文1「少し付け加えると」

この表現は、説明が足りないとき、^{ふじゅうぶん}不十分で^{ほそく}補足したいときに、^{つか}使います。

文2「いずれにしても」

「いずれにしても」という表現は「^{ひやうげん}どちらでも」「^い何でも」という意味を表します。ここでは「^{じやうそ}上訴の

パターンはいろいろあります。」と説明^{せつめい}して、二つの方法^{ほうほう}を説明^{せつめい}しています。そして「いずれにしても、裁判^{さいばん}は、原則^{げんそく}として、3回^{かい}しか受^うけることができません。」とどちらの方法^{ほうほう}でも3回しか裁判^{さいばん}を受けられない、ということ^{こと}を説明^{せつめい}しています。

